

Xavier Gerard

グザヴィエ・ジェラル 



まさに北ローヌのライジングスター！！ 2013年にファーストリリースするやいなやワイン・アドヴォケート誌が「傑出したワインをつくる若い造り手」と称賛、国際市場で人気を巻き起こした。世界中で引っ張りだこだが、各国アロケーションが少なく、欲しくても買えない人続出という状況が続いている。今後の進化にますます目が離せない、要注目の生産者。

コンドリュエ村にワイナリーを構えるグザヴィエ・ジェラルは1980年にピエール・ジェラルによって設立された小さな家族経営のドメヌである。2013年よりピエールの息子グザヴィエが二代目当主として指揮を執っているが、ドメヌに参画したのは2004年から。オフシーズン毎に世界中のワイナリーを周って研鑽を積んだ彼は、オーストラリア、ニュージーランド、カリフォルニア、南アフリカではかの有名なブーケンハーツでアシスタントワインメーカーを務め、一方国内でもアルザス、ブルゴーニュと各地で修業した。

約10年に及ぶ他ワイナリーでの経験を経て、満を持して2013VTのコート・ロティを初リリースするや否や、ワイン・アドヴォケート誌で「傑出したワインを作る若い作り手」と称賛され、その後2015VTのコート・ロティでは、同誌から「ドメヌ史上最も洗練されている」と絶賛のコメント。さらに、デカンター誌の北ローヌパネルテイスティング(マスター・ソムリエやマスター・オブ・ワインがブラインドで審査)で最高得点のうちの一つである97点をたたき出した。これ以降、国際市場での人気に火が付き、ライジングスターとして世界中で引っ張りだことなるも、各国アロケーションが少なく、欲しくても買えない人が続出している。

父親から受け継いだ畑は7.8haでコンドリュエとコートロティ、サン・ジョセフに広がる。コート・ロティにはランドンヌやフォンジャンなど珠玉の区画を含んでおり、これらは北ローヌで最も高額かつ人気の高いギガルやジャメのコート・ロティのバックボーンを作っている区画で、仮にこれがブルゴーニュだったらまず間違いなくグランクリュに相当する。そんな区画をグザヴィエはコート・ロティとして遥かに手ごろな価格でリリースしているのだから、引く手あまたになるのはごく当たり前の流れである。



畑はリュット・レゾネで栽培。機械耕作ができない程傾斜が急なため全て手作業で行われる。

白では大樽、赤ではステンレスタンクを使用してアルコール発酵、マロラクティック発酵を行いキュヴェ毎にバリック、ドゥミ・ミュイ、フードルなど樽のサイズを変えて熟成させる。テロワールとヴィンテージの個性を反映したワインを意図し、ブドウ一つ一つのポテンシャルを最大に発揮させる彼のワインはピュアな果実と美しい酸、はっきりとしたミネラルが見事なバランスで支えられている。

「2013年から指揮を執るグザヴィエのワインはますます力をつけている」とデカンター誌から評価を受け、ジャン・ロビンソンからは「将来有望の若手で見逃してはいけない」とポテンシャルの高さを証明。北ローヌのライジングスターであるグザヴィエ・ジェラル。2013年のファーストリリース以降、世界市場で人気を巻き起こし、愛好家をうならせるワインを世に送り出している。今後の進化にますます目が離せない、要注目の生産者である。

France



ヴィオニエ 2021 Viognier

限定 希望小売価格 ¥4,100

- 産地: IGP Collines Rhodaniennes
- 品種: ヴィオニエ100%
- 熟成: 600L樽12ヶ月
- 評価: —
- アルコール度数: 14%



コンドリュエの丘の上部、ヴェラン村にある1.5haの畑。樹齢は平均20年、モスコヴァイト(白雲母)混じりの花崗岩土壌。完熟したオレンジやメロンにミネラルと生姜のニュアンスが溶け込むアロマ。たっぷりとした果実の広がりを感じる口当たりで、そこから柑橘系やほのかにハーブが香るフレーバーが続く。凝縮感がありながらも焦点の定まった味わいで余韻も非常にクリアで心地よい。



コンドリュエ コート・シャティヨン 2021 Condrieu Cote Chatillon

限定 希望小売価格 ¥9,200

- 産地: Condrieu
- 品種: ヴィオニエ100%
- 熟成: 600L樽12ヶ月
- 評価: Decanter96
- アルコール度数: 14%



コンドリュエの丘にある単一区画で南-南東向きの0.98ha。樹齢は33年。土壌は花崗岩の一種である黒っぽいミグマタイト。フレッシュな桃、アンズやアプリコットにすみれ、ハチミツ、砂糖漬けの生姜などの刺激的で香り高いアロマにチャーキーなミネラルのニュアンスを感じる。口の中では、活気に満ちたクリアなスタイルで、後半になると一段と深みを増していく。フローラルなニュアンスが心地よいフィニッシュには、ミネラルが溶け込み長く続く余韻が楽しめる。



コート・ロティ 2020 Cote Rotie

限定 希望小売価格 ¥9,950

- 産地: Cote Rotie
- 品種: シラー96%、ヴィオニエ4%
- 熟成: 600L樽&バリック24ヶ月(新樽10%)
- 評価: —
- アルコール度数: 14.5%



畑は3.2haで4区画(モラル、ヴィアレール、ラ・ブロッ、ランドンヌ)のブレンド。樹齢は平均30年。モラルはシスト、その他はマイカ・シストの土壌。素晴らしいピュアなカシス、ブラックラズベリーにスミレやウッズモーク、グリーンオリーブのアロマ。ベルベットのようなまろやかな口当たりで、肉付きの良い果実味と心地よいタンニンが絶妙に溶け込み素晴らしいテクスチャーを生み出している。調和のとれた長い余韻が楽しめる。



コート・ロティ ランドンヌ 2020 Cote Rotie Landonne

限定 希望小売価格 ¥30,000

- 産地: Cote Rotie
- 品種: シラー100%
- 熟成: バリック24ヶ月(新樽33%)
- 評価: —
- アルコール度数: 14%



コート・ロティの極上の区画であるランドンヌにあるわずか0.25haの畑。樹齢は37年で酸化鉄が多く混ざったマイカ・シスト土壌。完熟したブラック・カラントやラズベリーにリコリス、スモーク、フローラル、エキゾチック・スパイスのヒントがある複雑なアロマ。口に含むと果実の肉付きの良さや凝縮感を感じ、甘くスモーキーなカシスやブラックベリーのフレーバーが広がり、滑らかで調和のとれたタンニンが生み出すテクスチャーが楽しめる。素晴らしい余韻と長熟ポテンシャルを持つ、年産わずか2樽の非常に希少なワイン。